

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 有限会社ウエダ建設

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs (17のゴールと169のターゲット)																								
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17								
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内共有、実践している。	●		・経営理念は全体会議時に従業員へ周知し、日々の業務にて取り組んでいる。									8	9															17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・法令遵守のため、建設業法、独占禁止法、労働基準法など会議時に周知徹底し、透明な事業活動に取り組んでいる。																								16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・入札や工事契約時には不正競争行為に関与しないため、会社独自の見積価格で応札するよう従業員へ周知し、見積作成後は当社代表が問題がないことを確認した上で提示を行っている。																10								16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・工事現場では騒音や埃など環境への影響を考慮し、土木部及び建築部として、各現場ごとに責任者、担当者を決め、作業手順に従って組織的に対応している。																								16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・会議時に自社で培った技術やアイデアなどの知的財産の重要性や必要性に関する講義を取り入れている。									8.2	9													16		
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・従業員の個人情報については、特定の社員のみ閲覧できる体制であり、容易に閲覧できないよう保管し管理している。また、お客様の個人情報については取り扱いを慎重に行い、書類を破棄する際にはシュレッダーを利用するなど適切に処理している。																								16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・工事現場では騒音や埃が発生するため、着工前に工事現場周辺の近隣住民の皆様へ、ご理解とご協力をいただくよう挨拶回りを行い対話に取り組んでいる。また、協力会社とは着工前や施工中の会議にて工程進捗や材料確認など都度対話に取り組んでいる。																						16	17		
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●							5				8		10		12	13	14	15	16	17							
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●												9		11		13.1								16	17		
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●		・後継者の指導・育成のため、工事現場や会議時に土木・建築施工技術などを継承し、役割に応じた教育を行っている。									8	9													17		
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●					1	2					5		8				12	13	14	15	16	17					
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・相談窓口を設置し、雇用、昇進、性別、国籍などの差別がない体制、運営を徹底している。				4.3	5.1				8.5		10.2									16.1		16.2	16.7		
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・毎月4時間の安全教育と危険予知活動を行い、労働災害防止に取り組んでいる。			3						8.8																
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		従業員(正社員、アルバイト等)に対し、性別・年齢・学歴・福利厚生等、様々な雇用条件において、差別しない同一労働同一賃金に沿った運営を徹底し、面談等により本人の希望する部署への異動も行っている。					5.5				8.5		10.2	10.3													
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・施工管理システムの導入により、工程管理・施工計画書作成などの業務効率化を図り、労働時間の短縮と酒気帯び運転確認記録表にて労働時間の管理を行うとともに、年間5日以上有給休暇取得を奨励している。			3		5.5				8.5		10.3														
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・土木施工管理技士などの資格取得を推奨し、取得後には賃金への反映(資格手当)を行っている。				4	5.5				8	9															
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上に取り組んでいる。	●		・毎年、事業所負担で一般健康診断を実施しており、社員の健康状態を把握している。			3						8														17		
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・女性・高齢者・全ての従業員に対し面談を行い、個々の能力が発揮されるよう適材適所へ配置するなど、安心・安全な職場環境づくりに取り組んでいる。				4.4	5.1	5.5			8.5		10.2	10.3								16.7					
19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		・新型コロナウイルスやインフルエンザの感染拡大を抑制するため、在宅勤務制度を導入している。			3						8	9.1		11	12													

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名： 有限会社ウエダ建設

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。
 (様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs (17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●								8	9.1		11	12							
	21	【ブライト企業】 ・ブライト企業に認定されている。		●				3	4			8	9			12							
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・廃棄物(アスファルト殻やコンクリート殻など)は取引業者と連携し適切な処理及びマニフェスト伝票の管理を行っている。			3.9			6.3				11.6	12.4			14.1	15.1			
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・【予定】簡易計算シートを用いてエネルギー使用量を把握し削減に取り組む。(2024年4月) ・昼休みは電気の消灯、日中はエアコンの適性温度を推奨し、電力の削減に努めている。							7.3						13					
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・【予定】簡易計算シートを用いてCO2排出の抑制に取り組む。(2024年4月) ・社用車を低燃費車へ切り換え、CO2削減に取り組んでいる。			2.4					7.2 7.3 7.a			12.4	13		14	15			
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・工事現場で発生する廃棄物(アスファルト殻やコンクリート殻など)の管理を徹底し、専門の産廃業者へ処分を依頼するなど環境に悪影響を及ぼさないよう配慮している。						6.6								14	15			
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・社内ではできる限り電子化(PDFデータ)を図り、印刷を控えることでごみの発生抑制に取り組んでいる。また、印刷時には裏紙として再利用している。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15			
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・工事現場にて発生する汚濁水は適切な処理を行うとともに、会社では節水用トイレを導入し節水にも取り組んでいる。			2.4			6.1 6.3 6.4 6.6				11.5				14.1 14.2 14.3	15		17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・現場で発生する材料(再生クラッシュランなど)は可能な限りリサイクル製品を活用している。									9.4			12.4 12.5	13	14	15			
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●			1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●	・事業所内外に観葉植物や花壇を設置し緑化に取り組んでいる。											11.6 11.7		13.1 13.3		15			17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●									7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・“伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●							6				9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●							6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●														12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●	・社用車は、低燃費車への切り換えに取り組んでいる。										9.4		11.2		13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●									7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.17

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名： 有限会社ウエダ建設

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具象的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs (17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・毎月4時間の安全教育と危険予知活動を行い、労働災害防止に努めている。また、現場パトロールにて品質の確認を行っている。			3.9						9			12.4								
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・工事現場では、一目で危険箇所が分かるような看板の設置や誘導を行い、安全な環境整備を行っている。									9.1	10	11.7								17	
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●	・現場に必要な材料（工事看板や既存型枠など）については熊本県産のものを優先的に使用している。			2.3 2.4				7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15				17	
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●	・会社内のテーブルなど積極的に木材を使用している。							7						12.2	13.1		15				
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●				2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15				17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・毎週金曜日には事業所周辺の美化作業に取り組んでいる。また、現場付近のボランティア活動（清掃）を年3回取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
	44	【防災、減災、レジリエンス（自助）】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・社員には会社や各現場のハザードマップを確認するよう周知しており、災害時には地域の建設業者と連携し緊急連絡網の整備、緊急出動態勢の配備を行っている。				4							11.5		13.1			16				
	45	【防災、減災、レジリエンス（共助）】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●		1.5		3	4							10.2	11.5		13.1			16	17		
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●											9		11	12	13.1						
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●					4					8.6		10.2								17	
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●					4.4					8.5 8.6										17	
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2		4.3 4.4 4.5					8.6		10.2		12	13	14	15			17	

25 25

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具象的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。